

マーケットの動き（2024年9月17日～9月20日）

先週の国内リート市場は、前週末比で下落しました。

日銀が20日の日銀金融政策決定会合で金利を据え置きましたが、利上げを継続する姿勢が確認されたため、長期金利が上昇圧力がかかり、国内リートは下落しました。

セクター別では、商業・物流等セクターが上昇した一方、オフィスセクターや住宅セクターは下落しました。

投資環境見通し（2024年9月）

国内リート市場は、底堅く推移すると予想

一番大きなウェイトを占めるオフィスセクターで、需要回復による業績拡大が期待されます。また、インフレ環境下、全ての用途で収益拡大施策の積極化や、割安な自己投資口を取得する動きが強まってきています。さらに、上場リートや私募リートの買収案件も増えてきており、市場の活性化が期待されることから、国内リート市場は底堅く推移すると予想します。

	9月20日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
東証REIT指数	1,749.46	▲0.36%	▲0.26%	▲1.46%	▲6.76%
<ご参考> TOPIX（東証株価指数）	2,642.35	2.77%	▲1.06%	▲3.95%	9.82%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

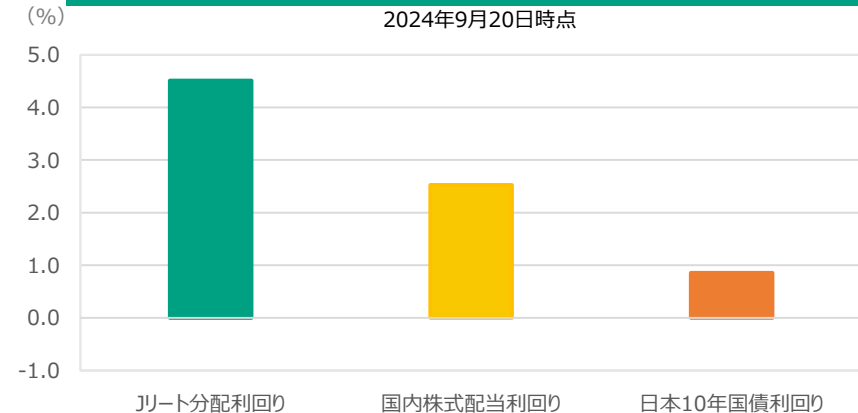
東証REIT指数、TOPIXの推移

（期間：2023年8月31日～2024年9月20日）



国内各種資産利回り

2024年9月20日時点



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>